



写真上 宝箱に掛けた鍵を入れたカプセルを、辰の彫刻の前に埋める各小学校の代表
写真下 「12年後に集まるのが楽しみ」と話した左から佐藤亜樹さん、佐藤夏妃さん、鈴木美悠さん

12年後の自分にメッセージ

猪苗代の子供たちの夢を応援する会（鈴木長治代表）が主催する第5回「猪苗代「えと」タイムカプセル」埋設式は12月19日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハーブ園で開催され、町内各小学校から6年生151人が参加しました。

鈴木会長は「皆さんはこのタイムカプセルの中に夢、目標や希望を入れた。苦しい時、つらい時やくじけそうな時にこのタイムカプセルのことを思い出して頑張ってほしい」と児童を激励。

参加した児童を代表して、翁島小学校の鈴木美悠さん、佐藤夏妃さん、佐藤亜樹さん（共に6年）の3人が将来の目標などを発表、「12年後にまたここで集まれることを楽しみにしている」と語りました。

その後、将来の自分へのメッセージなどが入った宝箱に鍵を掛け、鍵を入れたタイムカプセルを来年のえとである辰の彫刻の下に埋めました。



写真上 6年生最後の大会で優勝した吾妻小学校ミニバスケットボール部
写真下 吾妻小対磐梯小の決勝戦。吾妻小は大会を通じてチーム全体の正確なシュート力が光りました

冬の寒さを吹き飛ばす熱戦

猪苗代ミニバスケットボール連盟（矢吹孝志会長）主催の新人大会と連盟会長杯は12月3、4の両日、カメリーナで開かれました。大会には町内の4小学校と磐梯町の小学校の男女合わせて8チームが出場、優勝を目指し、全力でボールを奪い合いました。

連盟会長杯で優勝した吾妻スポ少ミニバスケットボール部キャプテンの遠藤真桜さん（6年）は「目標にしていた大会で優勝できてうれしい。来年も優勝できるように後輩たちに頑張ってもらいたい」と喜びを語りました。大会の成績は以下の通りです。

新人大会

男子優勝 猪苗代、準優勝 磐梯、3位 吾妻

女子優勝 吾妻、準優勝 長瀬、3位 猪苗代

連盟会長杯

男子優勝 猪苗代、準優勝 吾妻、3位 磐梯

女子優勝 吾妻、準優勝 磐梯、3位 長瀬

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 土砂災害の危険性は、自分たちの身近にある。真剣な目つきで講座を受講する吾妻中学校の生徒たち
写真下 かけ崩れの危険性やその兆候などについて説明する白井さん

吾妻中学校で防災出前講座

県喜多方建設事務所が主催する防災出前講座は12月1日、吾妻中学校と吾妻小学校で開かれ、同校の児童・生徒が受講しました。この講座は、同校のある樋ノ口地区が土砂災害警戒区域に指定されていることから実施されたものです。

吾妻中学校では、1年生から3年生の全校生徒合わせて74人が受講。講師を務めた県砂防ボランティア協会の白井康博さんは「集中豪雨から命を守るためには」と題し、新潟・福島豪雨などを例に挙げながら、雨の様子に注意すること、非常時の連絡方法、避難先などを決めておくことの重要性などを説明しました。同協会の齋藤志郎副会長は「危険地区内に住む生徒が、豪雨の際、自宅が危険だと家族から聞いて知っていた。これは素晴らしい。子どもたちの命を守るためには、住民と役所の連携や率先して避難する勇気が必要」と述べました。



写真上 2人で力を合わせて持ちつきに挑戦するさくらA組の男の子たち。高橋龍輝くん（左）と古俣寿季くん（右）
写真下 「どのもちも全部おいしい。いっぱい食べれるよ」と話した渡邊くん

おいしいもちができました

12月に入り、町内の各保育所では恒例のもちつき会が開かれました。

中ノ沢保育所のもちつき会は12月13日、同保育所で開かれ、27人の子どもの「よいしょー、よいしょー」という元気なかけ声が保育所中に響き渡りました。

つくたてのモチは、汁モチ、アーモンドモチと納豆モチの3種類に分けられ、子どもたちのお昼ごはんになりました。

さくら組の齋藤瑛和ちゃんは「きねは重かったけど、楽しかった。自分たちでついたもちが入ったおつゆモチが一番おいしい」、渡邊怜愛くんは「どのもちも全部おいしい」と感想を話しました。

きねを持ってない小さな子どもたちは、先生、お兄ちゃんやお姉ちゃんのもちつきを笑顔で応援。ひときわ大きなかけを送りました。